

高校

「春高バレー 2026」で堂々の『ベスト8』

バレーボール部

クラブ活動
ホームページは
こちら



2026年1月5日より東京体育館で開幕した「ジャパンネット杯 春の高校バレー(JVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会)」に、本校バレーボール部が3年ぶりに出場し、持ち前の粘り強いプレーで『ベスト8』進出を果たしました。

大会初日の1回戦では青森西高校に対し、序盤から主導権を握り2-0(25-13, 25-17)で快勝。続く6日の2回戦は昨年の夏の高校総体準優勝校、福岡女学院高校との対戦。選手たちは今大会一番のパフォーマンスを発揮し、2-0(25-16, 25-21)のストレートで下し、安定した試合運びを見せました。

8日の3回戦では富山第一高校と対戦し、集中した守備と多彩な攻撃が噛み合い2-0(25-19, 25-13)と危なげない勝利で準々決勝へ進出しました。準々決勝の相手は強豪・大阪国際高校。終盤まで競り合う白熱の展開となりましたが、惜しくも0-2(22-25, 24-26)で敗れ、今年の戦いは『ベスト8』で幕を閉じました。

大会期間中は、教職員、在校生、卒業生、保護者など多くの方々が会場に足を運び、スタンドは本校の応援カラーで埋め尽くされました。選手たちは「コートから見える満員の応援団が本当に心強かった」と語っており、その声援が連日の勝利を後押ししました。

あと一步で敗れた悔しさは大きいものの、選手たちはすでに「来年、再びこの舞台に戻ってくる」という新たな決意を胸に、次の挑戦へ歩み始めています。引き続き、バレーボール部への温かい応援とご支援をお願いいたします。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー



主将コメント 横溝采美(3杉)

私たち高校バレーボール部は春の高校バレーを『ベスト8』という結果で終えることができました。このような結果を残せたのは、沢山の方々の応援や支えがあったからです。皆さまの応援のおかげで夢の舞台で最高に楽しい試合をすることができました。そして応援の力がどれだけ偉大なのかを再確認することができました。まだまだ文京バレーボール部の挑戦は続きます。中高ともに日本一を目指し、日本一にふさわしい学校になれるよう努力します。これからも応援よろしくお願ひいたします。

監督コメント 塩谷尚正 教諭

会場、そして配信から届く皆様の声援のおかげで、最高の舞台を経験することができました。予選を抜けて春高へ出場することは決して楽ではなく、毎年出られるとは限りません。選手たちは、今まで繋いでくれた卒業生たちの想いも胸に、最後まで全力で戦い抜いてくれました。皆様の温かい応援に、心から感謝申し上げます。



大学

「話してみよう韓国語」東京大会 外国語学部生がスピーチ部門で『奨励賞』受賞

外国語学部4年の板垣舞雪さんが、2025年12月6日に開催された韓国語スピーチコンテスト「話してみよう韓国語」東京・学生／一般大会2025<スピーチ部門>本選において『奨励賞』を受賞しました。同大会は駐日韓国大使館 韓国文化院と専門学校神田外語学院が主催し、全国7都市で開催される歴史ある韓国語スピーチコンテストです。学習者が韓国語の発音や表現力、内容構成などを競う中でも、<スピーチ部門>は高い総合力が求められる難関として知られています。

今回板垣さんは、「私の最高の姿」をテーマに5分間の韓国語スピーチを披露。表現力や内容、語学運用力が高く評価され、『最優秀賞』『優秀賞』に次ぐ『奨励賞』に選ばれました。板垣さんは、学習開始から1年で同大会<スキット部門>『優秀賞』(2021年)を受賞し、その後も韓国留学や韓国語能力試験(TOPIK)6級取得など、着実に語学力を伸ばしてきました。卒業年次となる今回、大学生活の集大成として挑んだスピーチが評価された形です。

本学は今後も学生の語学実践と国際交流の機会拡充に努め、世界で活躍できる人材育成を推進していきます。



板垣さん

大学

ふじみ野キャンパス図書館学生センター5名が「図書館総合展2025」初出展で『JCCカルチャー・ジャパン賞』を受賞

2025年10月22日～24日にパシフィコ横浜で開催された「第27回 図書館総合展2025」のポスター・セッション部門において、ふじみ野キャンパスの図書館学生センター5名が、『JCCカルチャー・ジャパン賞』を受賞しました。

図書館学生センターは、2025年4月より活動を開始した新しい学生団体で、人間学部2名、保健医療技術学部3名が所属し、今回初めての図書館総合展への出展となりました。

出展したポスターは、ジュンク堂書店池袋本店での「選書ツアーリー」をもとに、学生自身が事前に選書テーマを設定し、そのテーマに沿って本を選び、POPを作成する活動の成果をまとめたものです。この取り組みが高く評価され、初出展での受賞となりました。図書館総合展運営委員会による公式発表でも、「出展団体による授賞式」のひとつとして、今回の受賞が報告されています。

2026年1月9日に本学ふじみ野キャンパスへ主催関係者が来訪され、賞状授与式が行われました。学生主体の新しい図書館活動が、外部から高く評価されたことは大きな励みとなりました。

図書館学生センターは、今後も利用者の視点を大切にしながら、図書館をより身近で魅力ある存在にするための取り組みを続けていきます。

表彰を受けた図書館
学生センターの
皆さん▼

詳しくは
こちらから▶



BUNKYO GAKUIN

中高

アンサンブルコンテストで『銀賞』獲得

吹奏楽部



2025年12月27日、府中の森芸術劇場 ふるさとホールで「第49回東京都高等学校アンサンブルコンテスト」が開催されました。そして本校吹奏楽部は「木管三重奏」で参加し、『銀賞』を受賞しました。

今回、吹奏楽部を代表して高校生2名、中学生1名の生徒がチームを組みました。3～8名の小編成によるアンサンブルは、個人技術や協調性に加え、音楽の深い理解と高い表現力が求められます。今年はフルート、クラリネット、アルトサックスによる編成で、難易度の高い曲に挑戦しました。3人で多くの時間を過ごし、課題である「音楽表現」と向き合い続けたことで、本番では納得のいく演奏をすることができました。この経験を部員全員と共有し、吹奏楽部全体のレベルアップにつなげたいです。

吹奏楽部・演劇部・AOBA
『合同発表会』のお知らせ

2校によるコラボ発表会を実施します。吹奏楽とミュージカルの華やかなステージをお届けします。

日時：3月20日(金)春分の日
14:30開場 15:00開演 17:30終演予定
場所：文京学院大学「仁愛ホール」

※入場無料※どなたでもご来場いただけます。未就学児も可。



高校

「タイ科学交流プログラム」開催

本校は2012年にSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けたことを契機に、タイ王国「プリンセス・チュラポン科学高校・ペッチャブリー校」(以下PCSHS-P校)と教育提携を結び、毎年互いの学校で科学交流を行っています。

2025年12月14日~23日の10日間、本校理数キャリアコース在籍の2年生12名が、現地タイを訪問し交流を行いました。現地の先生方と生徒たちからの温かい歓迎を受け、本校の生徒たちは「国賓」のような手厚い待遇の中で充実した時間を過ごしました。

交流の柱は高度な科学教育です。学内での物理・化学実験に加え、地元の大学ではマンゴスチンの抗酸化作用を調べるなど、英語での専門的な研究に挑戦しました。メインイベントのサイエンスフェアでは、日頃の研究成果を英語でプレゼンテーションし、見事2組が人気投票によるアワードを受賞するという快挙を成し遂げました。

生活面では、タイの伝統衣装でのダンスや工芸体験、調理体験、ファビンの海での自然学習を通じ、多角的にタイ文化を吸収しました。生徒たちはバディと支え合い、困難を乗り越えるたびに絆を深めていきました。

最終日、学校での別れのシーンでは、涙を流して抱き合い、再会を誓う姿が各所で見られました。生徒たちは「英語」と「科学」という2つの共通言語を通じ、学び、楽しみ、異国の仲間と深く交流しました。この絆は次世代へと引き継がれ、6月には本校にてPCSHS-P校の生徒・教員を迎えて、さらなる科学交流を行う予定です。

PHOTO GALLERY
フォトギャラリー



大学

「ゼミナールオープン大会」開催

2025年12月13日、「ゼミナールオープン大会2025」【ゼミナール協議会会長:笠 千夏さん(経営学部3年)】が本郷キャンパスで開催されました。同大会は、経営学部生で構成される「ゼミナール協議会」が主催する研究発表大会で、今回は経営学部12のゼミから23チーム、外国語学部から1チーム(渡部ゼミ)、計135名の学生が参加しました。さらには本年度より提携校である東洋学園大学現代経営学部の3ゼミから8チーム、25名に参加いただきました。

社会課題を明確にし、解決策を提案する「ビジネスプレゼン部門」には、19チームが4つのブロック(A, B, C, D)に分かれて参加。また、ゼミで研究しているテーマでの実証研究や事例分析を発表する「研究部門」には、13チームが3ブロック(E, F, G)に分かれて参加しました。学内外の教員、ビジネスパーソンから実践的なフィードバックをいただき、学生にとって大きな成長につながる1日となりました。

今年度より、経営学部同窓会「あやめ会」からの支援として「あやめ会賞」を新設しました。こうした新しい取り組みにより大会の持続的発展を目指しています。

研究発表をする
学生たち▼



各表彰と
発表テーマは
こちらから
ご覧ください。
▼



大学

ロードレース大会にサポートスタッフとして学生が参加

2025年12月14日、ふじみ野市第2運動公園で開催された「第21回ふじみ野市ロードレース大会」に、スポーツトレーナーサークルSPOLEC所属の理学療法学科学生12名がサポートブース担当として参加しました。あいにくの天候でしたが、多くのランナーが訪れ、学生がマッサージを行いました。来場者からは「とても気持ちよかったです」と好評で、本学や学科への関心を持つきっかけになりました。学生にとっても、実践を通じてコミュニケーション力や専門知識の重要性を再認識する貴重な機会となりました。病院スタッフとの交流や卒業生の近況情報交換も行われ、地域連携の深化を感じる場となりました。今後もふじみ野市との協力を継続し、地域とのつながりをさらに強めてまいります。



大学

学生が挑んだ5年の集大成 特撮映画『ヴァリドマン』劇場公開へ

経営学部・公野研究室が手がける実写特撮映画『ヴァリドマン』が、2026年2月14日(土)より池袋シネマ・ロサで1週間限定公開されます。本作は、学生が企画から脚本、撮影、編集、広報まで全工程を担い、約5年にわたって制作した青春怪獣特撮映画です。

本プロジェクトは、「尊敬する"特撮の父"円谷英二に捧げたい」という学生の思いから、完全自主制作としてスタート。特撮企業出身の公野勉教授の指導のもと、学生の枠を超えた協力が集まり、制作規模は大きく広がりました。主演声優として杉田智和氏、特別出演に神代知衣氏が参加し、メインアートワークには開田裕治氏が参画。また、徳間ジャパンコミュニケーションズやソニーマーケティング株式会社など企業からの支援・楽曲提供も受けています。

物語は、父の葬儀の日に出会った着ぐるみ怪獣・獣王(カツタン)と少女ミクが、古代の敵“激獣タイラー”的復活に立ち向かう特撮アクションで、家族をテーマにした心温まるドラマ性と、本格的な怪獣バトルが大きな見どころとなっています。

学生の情熱と技術が結集した本作の劇場公開に、ご注目ください。

『ヴァリドマン』
公式サイト



『ヴァリドマン』
公式X



池袋シネマ・ロサ
作品案内・チケット購入



ひたむき・まえむき・おもむき
tomoちゃん

第100回

画:美術部(高校) S・E



中高

本校で撮影された映画『終点のあの子』劇場公開

柚木麻子さんのデビュー作を原作とした青春映画『終点のあの子』(監督:吉田浩太、主演:當真あみ、中島セナ)が2026年1月23日に全国劇場公開されました。本作は駒込キャンパスを舞台に撮影が行われ、私立女子高校に通う少女たちの友情と心の揺れを瑞々しく描いた作品です。本校の学び舎が作品の世界観を支える重要なロケ地となりました。ぜひ、劇場でご覧ください。

1月19日には、本校ジャシホールにて「試写会+映画監督トークイベント」が行われました。その様子については次号にて紹介いたします。

公式HPは
こちら
▼

